

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-120	A-169	22-041	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
Alcohol brings burdens: A global and continent wise study on alcohol consumption and global burden of diseases アルコール消費と疾病の世界的負担に関する世界規模および大陸別の研究			
執筆者			
Jayathilaka R, Athukorala O, Ishara S, Silva D, Pathirage T.			
掲載誌			
PLoS One. 2022 Jul 28;17(7):e0270998. doi: 10.1371/journal.pone.0270998.			
キーワード			PMID
飲酒、世界疾病負担、グローバルヘルス、質調整生存年 (Quality-Adjusted Life Years)			35901092
要旨			
<p>目的: 本稿では、アルコール消費に起因する疾病負担として、人間開発指数 (HDI)、社会人口統計指数 (SDI)、所得に対する国内総生産 (GDP) の総合効果を考慮し、これらの変数が世界疾病負担 (GBD) にどのような影響を与えるかを測定し、結果に異なる視点をもたらすかを検証する。</p> <p>方法: 2000年から2019年間の主にヨーロッパ、アジア、北米、南米、アフリカ、オーストラリア地域を含む177カ国以上のデータを分析した。パネル回帰手法を適用し、固定効果 (Fixed Effect: EF) およびランダム効果 (Random Effect: RE) 推定を選択し、両推定のモデル選択にはハウスマン検定を用いた。</p> <p>結果: アルコール消費 (ワイン、ビール、蒸留酒、その他のアルコール) は、世界全体およびアフリカ大陸における世界疾病負担指数 (GBD) と正の有意な関係を有していることが明らかとなった。人間開発指数 (HDI) は、すべての国において GBD に負の影響を与えていた。特に、アフリカ大陸では、HDI は GBD に負の影響を与えていた。また、社会人口指数 (SDI) についても、アフリカ大陸と世界全体で、GBD は有意に正、ヨーロッパでは有意に負の影響を及ぼしていた。</p> <p>結論: 本調査結果は、HDI、SDI、所得の複合効果が大陸別および世界別の GBD に及ぼす影響を分析し、アルコール消費の影響を調査した最初の実証研究である。アルコール摂取やその他の変数が GBD に与える影響の全体像を示すとともに、GBD を減らすために、これらの変数に対して今後どのように取り組むべきかという示唆を与えている。</p>			